



第23回 地域療育講習会

医療社会事業担当 平岩 千映子



平成29年7月21日（金）、第23回地域療育講習会が多摩総合医療センターフォレストにて開催されました。テーマは「府中療育センターの歯科治療の実践と口腔ケアの取組み」でした。

この講習会は、平成18年度から年2回、地域で重症心身障害児者の療育に関わっている方を対象に、地域療育支援事業の一環として、行われているものです。

伊平歯科医師の「重症心身障害児者の歯科治療の流れ」では、長期入所者・外来患者の最近の傾向について話がありました。長期入所者については、フッ素塗布により歯の質が向上し、虫歯の減少がみられること、外来患者については、定期的な歯科検診やブラッシング指導を受ける方が増え、口腔ケアへの関心が高まっているということがわかりました。今後も当センターの歯科治療を、入所している方だけではなく、外来患者にもより一層提供していきたいというお話でした。

望月歯科衛生士の「口腔ケアの取組み」では、写真や動画を多用しながら、口腔ケア用品の説明がありました。また、医療・生活病棟別の口腔内の特徴やブラッシングの実際についてお話がありました。生活病棟では、歯間ブラシとワンタフトを併用し、腫れや汚れの多いところを中心にケアを行い、医療病棟では、音波ブラシによるマッサージや保湿に重点をおいたケアを行うことが重要であるとのことでした。

佐藤看護師の「音波ブラシを用いた口腔ケアの一症例」では、利用者の症例を挙げ、病棟内において、統一した口腔ケアを行うにはどうすればよいのかといった内容でした。歯科衛生士と相談をし、重点的に行うケアを職員間で共有することで、歯茎の色がきれいになったとの報告がありました。

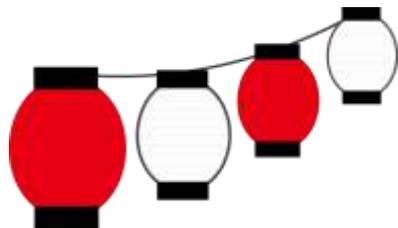
野口麻酔科医師の「府中療育センター歯科の全身管理」では、当センターにおける歯科治療時の鎮静法についてお話がありました。鎮静法の種類として、吸入鎮静法、静脈内鎮静法があり、それぞれの特徴や注意点について、説明を受けました。麻酔導入時から、導入後の利用者の全身管理と麻酔覚醒後の注意点について学ぶことができました。

今回は、展示コーナーを設け、歯ブラシ・補助ブラシ・音波ブラシ・保湿剤等を展示しました。また、薬液で口腔内の清拭体験をする人の姿も見られ、盛況でした。

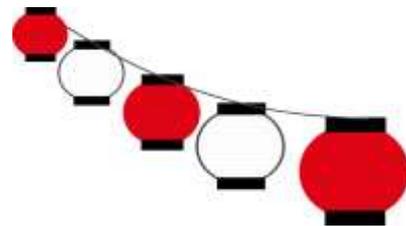
全体で関係者を含め83人の参加のあった講習会ですが、アンケートの結果「とても分かりやすかった」などの回答が90%以上を占め、「利用者一人一人の口腔ケアの課題や手立てをしっかりと考えることが必要だと思った」といった意見もいただきました。

次回の地域療育講習会へのご参加も、お待ちしております。





2-B 夏祭り



2-B 保育士 志村 友里

今年の夏祭りは「縁日」をテーマに行いました。当日は利用者全員が浴衣に着替えて、お化粧をしました。夏祭りが始まる前から、利用者の笑顔が見られ、楽しい雰囲気になっていました。

いよいよ始まりです。紙で作ったスイカでのスイカ割り体験では、おもちゃのハンマーを一生懸命に振り下ろし、割れるたびに大きな歓声が上がっていました。的当ては真剣な表情で、的に向かって手を伸ばしていました。おなじみのヨーヨー釣りは、磁石のついた釣竿でお好みの色のヨーヨーを狙い、釣り上げた時には満面の笑顔が見られました。

他病棟からの参加も多くあり、どのコーナーもたくさんの笑顔に溢れていました。楽しい時間はあっという間に終わってしまいましたが、思い出に残る夏祭りとなりました。



5階合同夏祭り 下町情緒を満喫！

5-A 保育士 大塚 好雄

8月9日（水）、5階病棟の合同による夏祭りを開催しました。今年は東京下町の祭りをテーマに浅草雷門、あさがお市、ほおずき市、東京スカイツリーなどをあしらったアートやゲーム、怪談本所七不思議の「置いてけ堀」をイメージしたお化け屋敷を用意しました。オープニングは筑波大学YOSAKOIソーランチーム「斬桐舞（きりぎりまい）」の皆さんによるよさこい踊りでした。シャケなどが登場する面白い創作ダンスを、利用者の中に入り、コミュニケーションを取りながら踊っていただいたので、皆さん大喜びでした。ペットボトルを活用した輪投げでは、手添えで高い得点を目指して一生懸命に投げる利用者の姿が見られました。的当てでは揺れ動くほおずきの的をトイレットペーパーの芯で作った鉄砲で撃ち、的に当たるたびに歓声が上がりました。獲得したボールは、スカイツリーに開けた大きな穴に落す玉入れ遊びに使用し、最後にはおみくじも引き、大変楽しんでいました。

にぎやかで楽しい夏の一日となりました。たくさんのご参加ありがとうございました。皆様のご協力に心より感謝致します。



サマーコンサート

4-2病棟 保育士 青柳 絵理子



今年も日野台高校コーラス部のみなさんによるサマーコンサート&誕生会を行ないました。

病棟内に総勢31名の高校生のみなさんが集い歌う様子は、まさに圧巻！4-2の利用者はもちろん、他病棟の方など、予想をはるかに上回る観客に、身動きがとれないほどの盛況ぶりでした。「誕生会の歌」に続き、日野台高校恒例の「汽車ぽっぽ」、NHK合唱コンクール課題曲、自由曲といった本格的な合唱曲、楽しい振り付けつきの「アイスクリームの歌」「チョコレート」など、バラエティに富んだ

演目にも利用者も喜んでいました。当日、あいにく具合が悪くベッドから離床できない方もいましたが、コンサート後半は、病室や個室に高校生のみなさんがそれぞれ訪問し、利用者の中に入って歌ってくれたため、病棟フロアーに美しい歌声が溢れ、楽しいコンサートとなりました。日野台高校は、6年間、センターでのコンサートを行っています。今回、その功績をたたえて、院長より感謝状が贈られました。日野台高校コーラス部のみなさん、ステキな歌声を本当にありがとうございました。



プール活動時の急変対応訓練を実施して

4-2病棟 福山 真奈美

7月12日のプール開きにより、府中療育センターのプール活動が開始されました。今年度は、医療安全対策室から「プール活動時の急変対応のフロー図」が提示され、4-2病棟では、急変時対応のシナリオを作成し、訓練を実施しました。他病棟の協力も得て、保育士が実際にプールに入り、実践さながらのシュミレーションをしたことで、職員の動きや処置をする場所、移送経路の確認ができ、有意義な訓練となりました。

4-2病棟の利用者のみなさんは、プールが大好きで、今年度は5回のプール活動を予定しています。8月に入り雨の日が多く、活動が出来ず残念ですが、「備えあればプール事故なし！」利用者の安全を確保し、楽しくプール活動が実践できるように訓練を重ねていきたいと思ひます。



EMコールがかり、病棟職員が応援に駆けつけ、心肺停止であることを確認。すぐに心臓マッサージを開始。



病棟職員もストレッチャーをプールサイドに持ってきて、看護師の指示に基づき病棟に搬送。



夏の企画 “カサイ海浜公

指導科 石田 泰美



7月26日(水)、27日(木)に、指導科行事「夏の企画」が行われました。今年のテーマは「カサイ海浜公園」。あじさい館を2つに仕切って入口側を「浜辺」、奥側を「海の中」として設定し、グラウンドには「海の家・食堂あじさい」が開店しました。利用者は、パラソルや水が流れているプール付きの海の家で、ジュースを味わったり、かき氷の冷たい感触、ラーメンやバターしょうゆの香りを楽

しました。そして、「浜辺」では海釣りにチャレンジです。マグネットのついた釣竿を放るとお魚がくっついてくるという仕組みで、あらかじめ指定された当たりの魚を釣ると船宿で景品と交換できました！なかなか釣れず何度も糸を海に投げたりする方や手元まで引き寄せた魚が逃げてしまう方もいました。しかし、一度に2匹を釣り上げる名人も現れました。一方、「海の中」は、打って変わって幻想的な空間です。入口のスズランテープで作った波のカーテンをくぐると、そこには海中の映像、宙に浮かぶイワシの群れ、ほたてやサザエの貝殻等が現れます。利用者は、キラキラのイワシをじっと見つめたり、貝殻に触ったり、昆布の香りを味わいました。



今回は、利用者に、日本の海水浴場の雰囲気味わってもらおうと企画しました。ボランティア5名にもご協力いただき、楽しい夏のひと時を過ごしました。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>